指定管理者モニタリング評価結果報告書

【令和7年度分】

施設概要	名　　称	宮司コミュニティセンター
	所　在　地	福津市宮司浜2丁目15-1
	設置条例	福津市コミュニティセンター条例
指定管理者	名　　称	宮司地区郷づくり推進協議会
	代表者	会長　梅野　邦彦
	所　在　地	福津市宮司浜2丁目15-1
	指定期間	令和4年4月1日　～　令和9年3月31日
所　　管	部課名	福津市市民生活部地域コミュニティ課郷づくり支援係
	評価期間	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日

◎モニタリング項目別の総合評価コメント

Ⅰ　業務運営状況（運営状況・利用状況・収支状況）
令和7年度は、昨年度に引き続き感染症予防対策など衛生面の安全確保に細心の注意を払いながら指定管理業務が実施されている。 その成果もあってか、利用者は増加しており、新型コロナ感染症流行前の時期を上回っている。 また、人件費・諸物価等の高騰が進む中、経費節減への努力を精力的に実施しながら良好な収支状況を保持している。
Ⅱ　業務履行状況（基本的事項・執行体制・個人情報保護・緊急時対策等）
各項目とも規定や基準どおり、適切に業務が履行されている。 自主事業については、地域との連携を最優先に実施されている点は評価できる。
Ⅲ　維持管理状況（施設設備の保守点検・備品管理・清掃・警備等）
施設の内外とも、適切な維持管理が確保できている。
Ⅳ　サービス向上への取組状況（運営全般・利用者サービスへの取組）
利用者の声を聴くアンケート調査の継続実施、その結果の意見や要望から課題改善点を抽出し、満足度を向上させる取り組みなど、今後の事業展開に期待が持てる。

◎モニタリング全般の総合評価コメント

◆　総合評価コメント
令和７年度は、利用者数・利用料金共に増加傾向にある。また、近年の人件費や光熱水費をはじめとする物件費の高騰等の理由により、利用の伸びと同様に必要経費が増加しているが、維持管理経費の節減努力により、健全な収支状況を確保することができている。 また、利用者の安全性の確保はもちろん、地域と連携した施設運営や事業展開が常に図られている点については、自治会を基軸とした郷づくり推進協議会に指定管理業務を委任している最大のメリットと考えられる。
◆　今後の業務改善への考え方
今後も利用者の利便性の向上はもちろん、地域の活性化や地域住民の交流の場として宮司コミュニティセンターの持続可能な管理運営を目指してもらいたい。

指定管理者モニタリングチェックシート

【令和7年度分】

施設概要	名　　称	宮司コミュニティセンター
	所 在 地	福津市宮司浜2丁目15-1
	設置条例	福津市コミュニティセンター条例
指定管理者	名　　称	宮司地区郷づくり推進協議会
	代表者	会長　梅野　邦彦
	所 在 地	福津市宮司浜2丁目15-1
	指定期間	令和4年4月1日　～　令和9年3月31日
所　　管	部 課 名	福津市市民生活部地域コミュニティ課郷づくり支援係
	評価期間	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日

Ⅰ　業務運営状況に対するチェック　（チェックシート①）

Ⅰ－1.　運営状況

評価項目	事業計画（目標）	事業実績	コメント
開館（開場）日数	307	306	8月11日、豪雨による浸水被害のため臨時休館
開館（開場）時間	3991	3,978	9時～22時まで開館
自主事業開催数	36	39	歌声喫茶、うみがめ室内管弦打屋

Ⅰ－2.　利用状況

評価項目		事業計画（目標）	事業実績	コメント
延べ利用者数（人）	有料施設	27,000	35,757	新規利用者増のほか、音楽趣味の部屋の利用が増えている
	無料施設	7,000	15,332	キッズルームのほか、保育園等の芝生利用が増えている
	計	34,000	51,089	
事業参加者数（人）	自主事業	2,000	1,847	イベント（歌声喫茶・うめがめ室内管弦打屋）を開催
	花植事業	100	101	花壇・プランターに花植え(春・秋)
	文化祭事業	400	2,075	コミセン文化祭を開催
稼働率（平均）（%）	有料施設	20	20	音楽趣味の部屋の利用が増えている

Ⅰ－3.　収支状況

評価項目		事業計画（目標）	事業実績	コメント
利用料金収入	有料施設	3,150,000	3,921,340	新規利用者の申し込みが増えている
	自動販売機	144,000	156,914	自動販売機販売手数料
	その他	3,200	3,889	
	計	3,297,200	4,082,143	
自主事業収入	自主事業	250,000	193,400	歌声喫茶27回、うみがめ室内管弦打屋12回を開催
	花植事業	0	0	
	文化祭事業	0	0	
	計	250,000	193,400	
指定管理料		13,879,800	13,879,800	
収入合計		17,427,000	18,155,343	
人件費		6,200,000	6,739,723	給与及び役員手当
賃借料		149,000	114,884	リース代（ダスキンマット・サーバー）
維持管理費		7,975,000	7,345,653	光熱水費・修繕・委託業務費など
総務費		836,200	1,265,125	電話代・事務用品・消耗品、パソコン更新など
事業費		230,000	197,461	春・秋の花壇用花苗、文化祭費用
租税公課		1,305,900	1,059,300	令和７年度法人税＋令和７年度消費税
その他		730,900	35,223	法定福利費
支出合計		17,427,000	16,757,369	
収支差引		0	1,397,974	

Ⅰ 業務運営状況の総合評価コメント

施設の利用者数に関しては、新規利用者が増えている。

今期の収支は、最低賃金の見直し及び利用増に伴う勤務日数の増加により人件費が増加している。半面、利用施設料金の増加及び施設維持管理費の節減に努めたこと等により、利益の確保ができた。